

みな
レポ



私が夏休み防災無線放送を担当しました

町では、防災行政無線を活用して、夏休みの期間中、子どもたちが安全に帰宅できるような帰宅促進放送をしています。

今回は、志津川中学校3年の三浦志穂さんが担当しました。三浦さんは、「自分の声が、町中に流れると思うととても緊張しました。家族から応援してもらったので、一生懸命頑張りました。放送はうまくできたと思います」と感想を話してくれました。



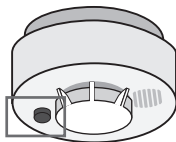
南三陸消防署からのお知らせ

住宅用火災警報器 ～交換時期を迎えていませんか？～

平成18年に新規住宅での住宅用火災警報器(以下、住警器)の設置が義務化されてから、約10年が経過しました。住警器はメーカーや種類によっても異なりますが、おおよそ10年が交換の目安となっています。もう一度、自宅の住警器を確認してみましょう。

まずは点検を!

設置から年数が経過した住警器は電池切れを起こしている可能性があります。住警器の点検ボタンを押す、またはひもを引くなどして警報音が鳴るか確認しましょう!



なぜ住警器が必要なのか?

住警器は就寝中や、人がいない部屋で発生した火災をいち早く感知し、避難や初期消火の時間を稼いでくれます。



その結果、住警器を設置した場合は設置していない場合に比べ、火災による損害がおおむね半減しており、住宅火災による死者数が1/3ほど減少しています(総務省消防庁調べ)。

チェック!



火災から大切な家族や自分の命を守るために、住警器を設置していない家庭は速やかに設置願います。

※住警器の設置場所や種類については、消防本部のホームページをご覧ください。

☎ 南三陸消防署 ☎46-2677
歌津出張所 ☎36-2222

みなトレ

～南三陸のたからもの～



おやすみば 御休場の一本松 入谷字中の町

一本松は、田んぼの中に立つ、樹齢300年以上といわれるアカマツです。入谷八幡神社のお祭りの際に神社から下ったみこしが休憩する場所であるため、「御休場」と呼ばれており、一本松の下で打囃子が奉納されます。一本松の横には、明治19年に建てられた養蚕の神様である「蚕神」の碑があります。

宮城県無形民俗文化財に指定されている「入谷の祭り」と打囃子は、八幡神社例祭時に行われる祭り行事です。明和元年(1764年)に初奉納されたと伝えられ、文化年間(1804年～1818年)には、一本松の下でも打囃子が奉納されるようになりました。今年の八幡神社の例祭は、9月17日の予定です。

ご存知ですか?
文化財保護のこと

土地に埋もれている昔の建物跡やそれに伴う土器・石器などは町の大切な文化財です。一旦壊してしまえば二度と元に戻すことができません。これから住居の新築や土地の造成・改良などをお考えの場合は、必ず教育委員会にご一報ください。

☎ 教育委員会生涯学習課 ☎46-2639